

授業科目	地域看護実習	4 学年・前期・1 単位 (45 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	上田 泉 (保健医療学研究棟 E104 号) e-mail : iueda@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	岡田尚美、青木亜砂子、深川周平、村川奨		
概要	行政あるいは地域施設の地域看護を実践している分野において、保健事業及び地区活動に見学・参加・実施することを通して、地域看護の対象理解を深め、活動の実際を学び、地域に暮らす人々の日常生活に沿った健康支援能力を学ぶ。地域看護を実践するために必要な知識、看護活動技術について見学および体験する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会で生活する個人・家族を看護の対象としてとらえ、対象のとらえ方を学ぶ。人々の日々の生活の営み、暮らし方の実際を知る。個人、家族、地区、地域との相互関係を述べることができる。</li> <li>2. 地域看護活動の実際を理解し、特徴的な支援技法を学ぶ。参加する保健事業について、根拠法令、政策指針、全体の政策における位置づけ、事業目的、実施内容、看護職の役割を述べるができる。</li> <li>3. 人々の健康に対する施設部門の責務と看護職の役割について説明することができる。</li> </ol>		
評価	実習状況(90%)、記録物、レポート等(10%)を総合的に評価し、実習評価票を用いて実習目標の到達度を判断する。		
履修上の留意点	原則として遅刻、欠席、早退は認められない。体調管理に留意すること。事前に配布する「実習要項」を熟読し、詳細を確認すること。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 4～5 人のグループに分かれ、各実習施設を拠点として実習する。5 日間の中に移動日も含める。</li> <li>2. 様々な保健事業・福祉事業の一つ以上参加する。</li> <li>3. 様々な健康レベルの個人・家族を 1 例、紹介を受ける、もしくは関わる機会があれば関わる。</li> <li>4. 共通の健康課題をもつグループ(小集団)を 1 例、紹介を受ける、もしくは関わる機会があれば関わる。</li> <li>5. 最終日には到達目標に沿ってカンファレンスを行い、学びを確認する。毎日ミニ・カンファレンスを夕方に行い、日々の学びを確認する。</li> <li>6. 実習終了後、到達目標に沿った学びについて、レポートにまとめ提出する。</li> </ol>
実習期間	8 月中の 1 週間
実習場所	北海道内の離島、市町村等の保健センターおよび保健・福祉部門、地域包括支援センター
実習時間	基本的に 9:00～17:00 である。ただし、実習内容および実習施設の勤務開始、終了時間にあわせて変更する場合がある。
実習内容	地域看護を実践している行政等の分野において、保健事業及び地区活動に見学・参加・実施することを通じて、地域看護の対象理解を深め、活動の実際を学び、地域に暮らす人々の日常生活に沿った健康支援能力を学ぶ。地区踏査を実施し、住民との対話や地区の観察から地域の生活状況を把握する。地域看護を実践するために必要な知識、看護活動技術について見学および体験する。